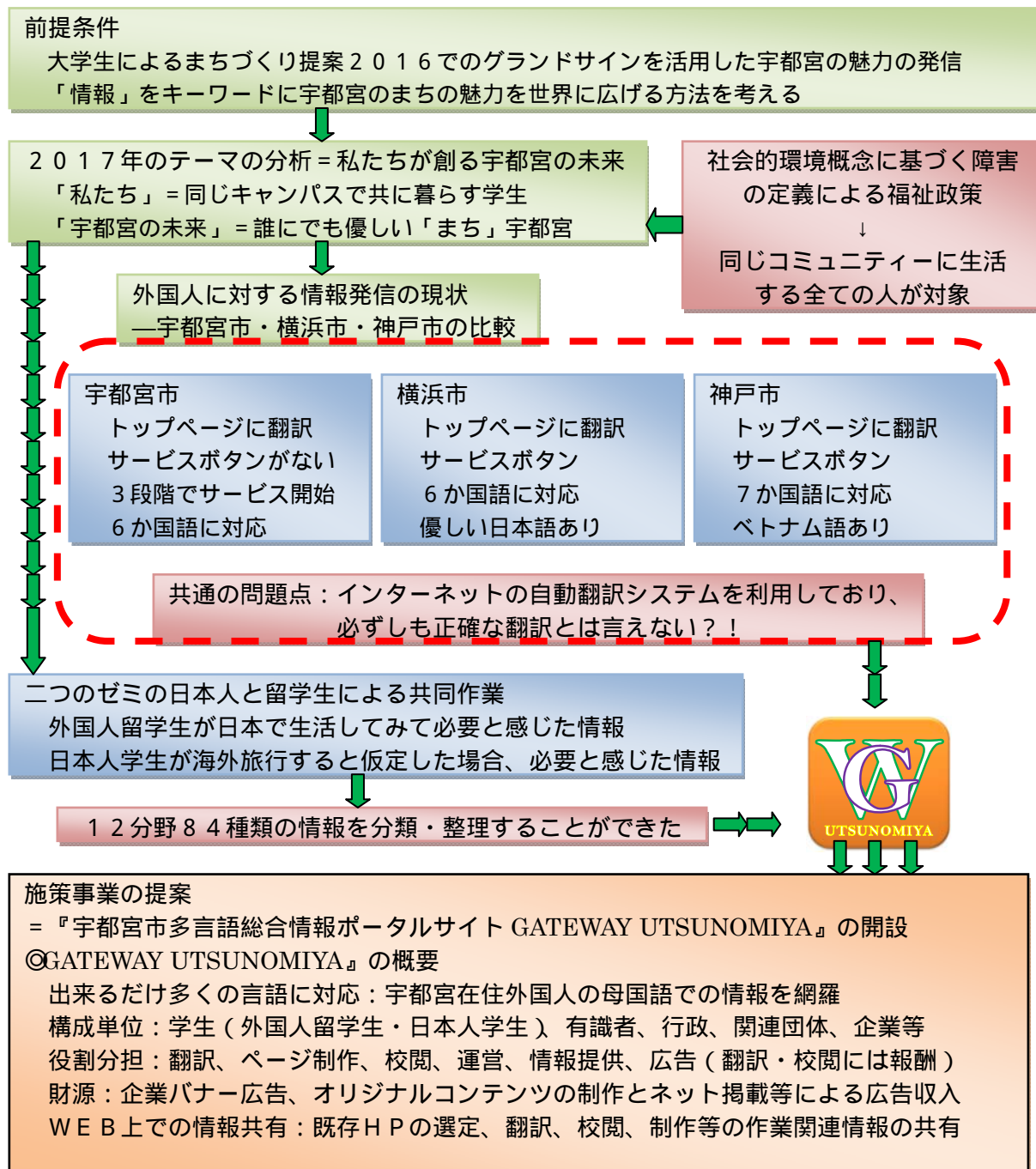


No	提 案 名	提案団体名	
		代表者氏名	所 属
4	『宇都宮市多言語総合情報ポータルサイト GATEWAY UTSUNOMIYA』の開設	宇都宮共和大学シティライフ学部内藤・高丸ゼミ	
		佐藤 咲雪	宇都宮共和大学シティライフ学部
		指導教員 氏 名	内藤 英二 高丸 圭一

1 提案の要旨



2 提案の目標 = 誰にでも優しい「まち」宇都宮を目指して

内藤ゼミでは、2016年の大学生によるまちづくり提案で「グランドサイン」を活用した世界に向けての宇都宮の魅力発信というアイデアを考えました。これは、宇都宮市内に高高度からでも識別できる巨大な『宮』の字を作り、グーグルアースなどの情報サイトに掲載されたこの『宮』の字をクリックすると宇都宮の情報を掲載した各種のホームページ等に進むことができるようにするという提案でした。

私たち2年生は、今回、初めて宇都宮市の『大学生によるまちづくり提案』に挑戦するにあたり、ゼミの先輩のこうしたアイデアを引き継いで、宇都宮の正確な情報を世界に発信するポータルサイトの構築を提案のテーマに設定しました。

具体的には、宇都宮に関する情報を掲載している、市役所をはじめとする多くの組織・団体のホームページを、それらの組織・団体の了承を得て、宇都宮で生活している外国人が日常生活で使っている母国語に翻訳し、多言語の総合情報ポータルサイトとしてインターネット上に公開することにより、世界中の多くの国の人々が母国語で宇都宮に関する正確な情報を入手することを可能にする多言語による総合情報ポータルサイト『GATEWAY UTSUNOMIYA』の開設を提案するというものです。

今回の提案では、まちづくりにマーケティングの手法を活用することをテーマとしている内藤ゼミとコンピューターに関連する知識を活用することをテーマとしている高丸ゼミの2年生が共同で研究をすることになりました。

3 現状の分析と課題

1) 誰にでも優しい「まち」宇都宮の発想

2017年の大学生によるまちづくり提案の課題は「私たちが創る宇都宮の未来」となっています。ゼミの先輩が残してくれたアイデアと、この課題をどのように結びつけたらよいのかを考えました。

そして、大学のキャンパスやゼミのメンバーを見渡してみて、「私たち」というキーワードについては、日本人と外国人留学生というような国籍に関係なく、同じ大学のキャンパスで共に勉強し、生活している学生を想定することにしました。

次に『創る』というキーワードについて検討し、何を『創る』のか、宇都宮のどのような未来を私たち学生が創ることができるのかを、考えました。その結果、年齢や性別、国籍や住んでいる年月などに関係なく、宇都宮を訪れたすべての人が、「誰にでも親切で、便利で、快適なまち」であると思ってもらえるようなまち、誰にでも優しい「まち」宇都宮を創るには、どうしたらよいか、を提案のテーマとすることになりました。

私たちのこのアイデアに辿り着くまでには、ゼミの指導教員である内藤教授が提供して下さった資料がありました。それは、北欧の福祉先進国であるスウェーデンやデンマークで取り入れられている、「社会的環境の概念に基づく障害の定義」とそれによる福祉政策の考え方でした。

「社会的環境の概念による障害の定義」とは、「障害とはそれを被っている個人の特性ではなく、その人が受け入れがたい環境に直面している状態を意味する」というものです。¹⁾

この定義によると、障害とは、私たちが目で見たり、感覚でとらえることのできる「Disabilityとしての障害」ではなく、人間の外部にある環境が生み出すもの、社会に存在する多種多様な活動に障害(Disability)を持つ人が関係しようとするときに発生する制約条件(Limitation)あるいは障壁(Barrier)が存在している状態を意味し、この状態は「Handicapとしての障害」と呼ばれています。

この定義に基づいて展開されるスウェーデンやデンマークの福祉政策では、制約条件(Limitation)や障壁(Barrier)を取り除くことが第一の目的とされており、政策の対象となる人も、障害をもつ人だけではなくて、同じコミュニティに生活しているすべての人々となります。²⁾

このような考え方を参考にして、私たちは、例え、日帰りで宇都宮に立ち寄った人でも、「宇都宮は誰にでも親切で、便利で、快適なまちだった」と思ってもらえるような、仕組みを作ることができないか、と考えるようになりました。こうして、提案の目的のサブタイトルにあるような『誰にでも優しい「まち」宇都宮を目指して』というアイデアを決定しました。

1) Facts about Sweden/Disability Policy, www.sweden.se

2) Danish disability policy – equal opportunities through dialogue, The Danish Disability Council, 2002.

(社会的)環境概念に基づく障害の定義



disabilityとしての障害: 視力や聴力の障害、精神面や認知上の障害のように直接的に視認、知覚できるもの

Handicapとしての障害: 人間の外部的要因であって、個人の障害ではなく、環境がもたらすもの。社会に存在する諸々の活動に障害者が関係する際に発生する制約条件 (**limitation**)、障壁 (**barrier**) の結果

出典：内藤英二、東海大学文学部北欧学科『北欧の福祉』授業資料、2012年

2) 宇都宮市・横浜市・神戸市のHPに見る外国人向け情報ページの比較

情報というキーワードを使って、誰にでも優しい「まち」宇都宮の創造を目指すために、私たちは最初に、宇都宮市内に住む外国人が、日常生活に必要な情報をどうやって入手しているのかを調べてみることにしました。内藤ゼミと高丸ゼミの2年生にはベトナムからの留学生や中国語を話せる人がいるので、彼らから聞き取り調査をしたところ、留学生同志が会話やメール、あるいはインターネットを通じて生活に必要な情報を得ていることがわかりました。

そこで宇都宮市のホームページを開いてみたところ、トップページには外国人が情報を検索するために選択する外国語翻訳サービスのボタンはありませんでした。トップページにあるメニューボタンの中の「暮らし」を選択し、「暮らし」のページにジャンプすると、翻訳サービスのページにジャンプするボタンがあり、翻訳サービスのページには、ホームページの日本語の内容を英語、中国語(2種類)、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語という6つの言語に翻訳できることが分りました。トップページから数えて、3段階を経て翻訳サービスによる情報を得ることができるようになっていっていることになります。

A 宇都宮市のホームページ



A 宇都宮市のホームページ



A 宇都宮市のホームページ

言語を選んで自動翻訳サービスを開始



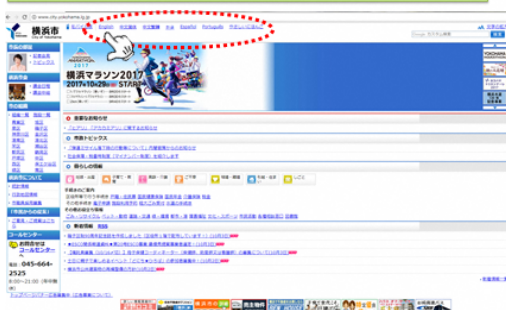
次に他の都市の事例を見ることにし、ゼミのメンバーである留学生が知人や友人が多く住んでいる都市として挙げた、横浜市と神戸市のホームページを調べてみました。

まず、横浜市のホームページでは、トップページの最上段に翻訳サービスのボタンがあり、英語、中国語（２種類）、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、優しい日本語という６種類の言語への翻訳サービスをトップページから直接、選択できるようになっており、特にやさしい日本語を用意している点が、横浜市在住の外国人に対する情報提供のための配慮なのではないか、というのが、ホームページを検索したゼミ生の感想でした。

神戸市のホームページの場合も、トップページに翻訳サービスのプルダウンメニューがあり、英語、中国語（２種類）、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語という６種類の言語への翻訳サービスの利用が可能となっていました。

B 横浜市のホームページ

トップページに翻訳サービスのボタン



C 神戸市のホームページ

トップページに翻訳サービスのボタン



トップページから翻訳サービスまでの段階を見るだけの単純な比較ではありますが、宇都宮市のホームページの場合は、日本人でも翻訳サービスのページに到達する方法を見つけるには少し時間と手間がかかるように感じました。これに対し、横浜市と神戸市のホームページの場合は、そこから情報を得ようとする外国人に対する配慮がうかがえました。

3) 外国人向け情報ページの共通した問題点

これら三つの都市のホームページの翻訳サービスは、インターネット上の自動翻訳システムを利用しているという共通点があります。そして、どの翻訳サービスの説明を見ても、『自動翻訳システムによる機械翻訳のため必ずしも正確な翻訳であるとは限りません。翻訳前の日本語ページの内容と異なる場合もありますので、このことを十分にご理解のうえご利用ください。(宇都宮市HPより)』というような注意書きが設けられています。

ゼミのメンバーであるベトナム人の留学生の体験でも、インターネットの自動翻訳システムを使って日本語のホームページの内容をベトナム語に翻訳したところ、内容が正確でなかったという体験は多くあるということがわかりました。

4) 海外生活で重要な情報の検討と整理

三都市のホームページの比較検討と並行して、内藤ゼミと高丸ゼミでは、定期的に合同でゼミを実施し、海外で生活する場合に、知っていると便利な情報、知らないと困る情報とは何かという課題について、情報の種類を検討し、整理・分類する作業をしました。

ゼミのメンバーのうち、外国人留学生には日本での生活の体験をもとに、日本人の学生は海外旅行の体験や海外旅行を想定して、必要な情報を検討した結果、以下のように12分野84種類の情報が集まりました。

生活（買い物・お店）

宮カフェ レストラン Tax Free 料理 スパイス 食品 食材 衣服 美容院
コンビニ スーパーマーケット

芸能・文化

栃テレ レディオベリー NHK 宮ラジ 宇都宮ケーブルテレビ 天王祭 宮まつり

御神楽 獅子舞

TFC ブレックス アイスバックス ブリッセン ジャパンカップ グリーンスタジアム

ジョギングコース アスレチックジム

教育

保育園 小学校 中学校 高校 特別支援学級 日本語学校 専門学校 大学 大学院

通信

スマートフォン・携帯 Wi-Fi ポケットWi-Fi ドコモ・AU・ソフトバンク

ハガキ・手紙・切手（郵便局） SIMカード

仕事

アルバイト パート 求人 ハローワーク

安全

110 119

観光

案内所 観光スポット 旅館 民宿 ホテル 道の駅 まちの駅 レンタカー

レンタサイクル トイレ 公園

行政

入管事務所 市役所 県庁

医療

薬局 医師 病院 救急外来

金融

銀行 ATM 郵便局 両替

交通

電車 TAXI 自動車 新幹線 JR在来線 東武線 LRT JR宇都宮駅

東武宇都宮駅 時刻表 マップ 駐車場

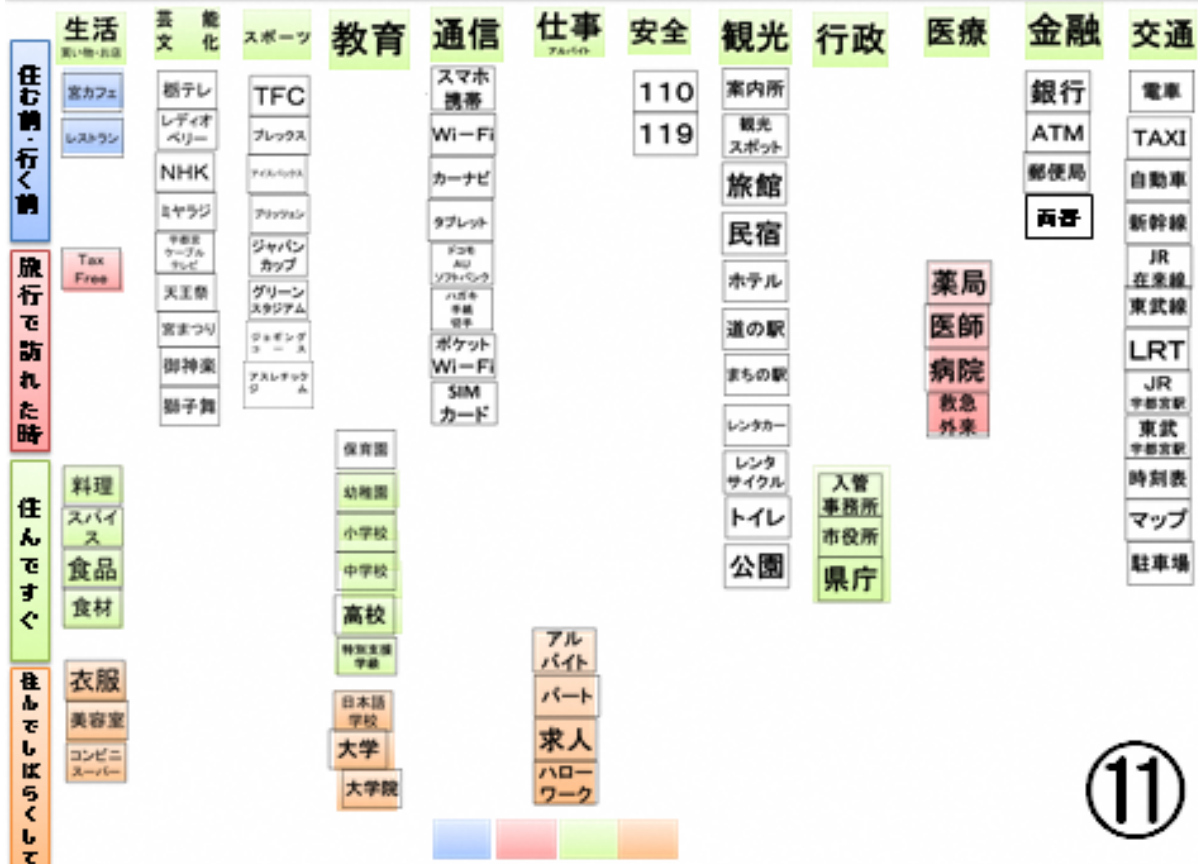
こうして集められた情報を、横軸に12の情報の分野、縦軸に宇都宮での滞在期間をとって、分類、整理してみました。滞在期間は、宇都宮に旅行に行く前、住む前（滞在期間は0日）、旅行で宇都宮を訪れた場合（7日以内）、宇都宮に住んですぐ（8日～30日）、宇都宮に住んでしばらくして（31日以上）という4段階を設定してあります。

12の分野ごとに、滞在期間に応じて必要となる情報の分類を試みていますが、ほとんどの情報について、滞在期間に関係なく必要となるケースも多くあります。

このような情報の分類整理をする過程で、この分類表をトップページとし、宇都宮に関する情報を網羅したポータルサイトが創れないだろうか、という意見が出てきました。さらに、掲載する情報はなるべく多くの言語に翻訳されていれば、便利なのではないかという意見もありました。

GATEWAY UTSUNOMIYA トップページイメージ(日本語バージョン)

英語 ドイツ語 フランス語 やさしい日本語 中国語(簡体・繁体) 韓国語 スペイン語 ポルトガル語 ベトナム語 タガログ語 ネパール語



4 施策事業の提案

1) GATEWAY UTSUNOMIYAの概要

以上のような2種類の現状分析を二つのゼミに所属する外国人留学生と日本人学生が共同で実施し、分析し、課題について話し合うというプロセスを経て、私たちは、宇都宮市の正確な情報を世界に広めることのできる多言語総合情報ポータルサイトの開設という提案をすることになりました。

北欧諸国が政府主導で展開してきた総合情報サイトの名前からヒントを得て、GATEWAY UTSUNOMIYAと名付けられたこの多言語総合情報ポータルサイトの概要は、以下の通りです。

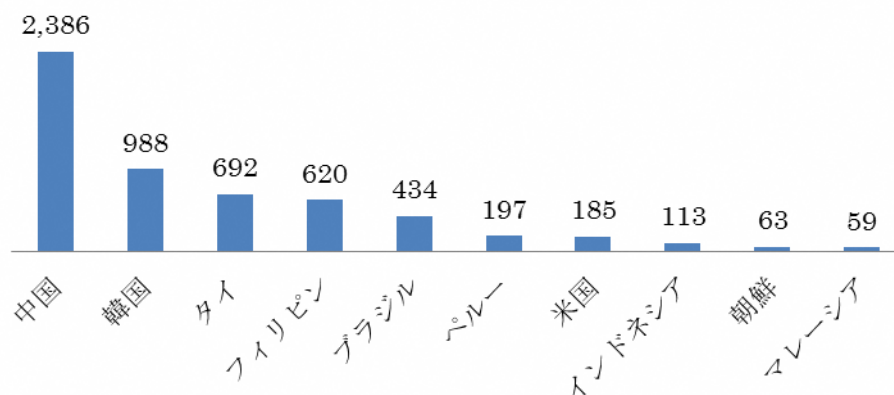
出来るだけ多くの言語に対応：宇都宮市在住外国人の母国語での情報を網羅

トップページの最上段には言語選択のためのボタンを設定します。使用する言語は英語、フランス語、ドイツ語、中国語(簡体中文、繁体中文)、韓国語、スペイン語、ポルトガル語など、宇都宮市やその他の自治体の翻訳サービスで対応していた代表的な言語に加えて、宇都宮市に多く住んでいる外国人の母国語である、タイ語、タガログ語(フィリピン)、また、ベトナム語、ネパール語等、私たちのキャンパスで一緒に生活している留学生の言語も含めて、可能な限り多くの種類の翻訳ページを用意します。³⁾図で示したトップページのイメージは日本語バージョンなので、言語の種類も日本語で表記してありますが、実際にはその国の原語で表記します。あるいは誰にでもわかりやすく、使いやすいようにそれぞれの国の国旗をボタンとして使用するというアイデアもありました。

3) 宇都宮市国籍別外国人登録人口

<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/johokokai/opendata/jinko/1009998.html>

宇都宮市の国籍別外国人登録人口上位10か国
(2015年12月末日現在)



出展：宇都宮市国籍別外国人登録人口

<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/johokokai/opendata/jinko/1009998.html>

構成単位：学生（外国人留学生・日本人学生）、有識者、行政、関連団体、企業等

この総合情報ポータルサイトを構成する単位、テーマパークでいえば来場者をおもてなしするキャストとしては、以下の5つのグループがあります。

第1は私たち学生です。宇都宮市内に住んでいるか、宇都宮市内や栃木県内の大学で学んでいる大学生や専門学校生で、国籍は問いません。

第2のグループは、大学などの教育機関に所属する研究者や翻訳の専門家などの有識者です。ポータルサイトの中で展開される多く外国語に精通していると同時に、それらの言語が日常的に活用されている国や地域の生活習慣や文化についての豊かな経験と知識を持っていることが条件です。

第3のグループは、宇都宮市や栃木県などの行政機関とそこに所属する国際交流や地域振興、広報などの担当者です。宇都宮市役所の場合は、広報広聴課、ブランド推進室、市政研究センター等が、第3のグループになると思います。

第4のグループは、栃木県内や宇都宮市内にある国際交流を目的に設立され、活動している組織や団体です。学生や地域住民が設立した非営利組織等も含まれます。

第5のグループは、企業です。海外市場を開拓したい、積極的に外国人を雇用したい、等の経営上の必要性から、世界に対して情報を発信することを希望する企業の参加を期待しています。

ポータルサイト内では、これらの5つのグループに属する人たちが、それぞれ必要な情報を、既存の組織・団体のホームページなどから選び出し、それらの要望やアイデアに沿って集められた情報を、なるべく多くの言語に翻訳、整理、分類して、誰にでも簡単に検索、利用できるようにします。

役割分担：翻訳、ページ制作、校閲、運営、情報提供、広告（翻訳・校閲には報酬）

ポータルサイトを構成する5つのグループは、宇都宮市に関する情報の収集・選定・提供という共通の役割の他に、それぞれ、主要な役割を担っています。

外国人留学生は、選定された情報の母国語への翻訳を担当します。

日本人学生は、必要な情報を日本語から多種類の外国語への翻訳する際のページのレイアウト、など、ポータルサイトの制作を担当します。

専門家は、それぞれの専門分野の知識を活かして、外国人留学生が母国語に翻訳した情報の点検、校閲を行います。

行政は、ポータルサイト全体の運営、管理を担当します。例えば、構成要素である5つのグループから出された翻訳して欲しい情報のリクエストについて、その情報が掲載されているホームページ等を運営している企業や団体に対して、翻訳とポータルサイト転載の許可を得られるように働きかけます。また、ポータルサイトに掲載される情報は、可能ならば行政が管理しているコンピュータに蓄積します。

国際交流に関係している各種の関連団体は、宇都宮に居住する外国人が特に必要と考える情報の収集・提供を担当します。

企業が、海外に向けて自社の事業内容や製品に関する情報を発信したり、外国人を対象とした求人情報などをポータルサイトに掲載しようとする場合には、ポータルサイトは有料の広告という形で、それらの情報を掲載するスペースをポータルサイトに確保します。

このように5つのグループは、それぞれ主要な役割を担っていますが、特に、外国人留学生による掲載情報の母国語への翻訳と、専門家による翻訳情報の点検・校閲に対しては、報酬の支払を計画しています。

GATEWAY UTSUNOMIYA の 構成単位(キャスト)と主要な役割分担



財源：企業バナー広告、オリジナルコンテンツの制作とネット掲載等による広告収入

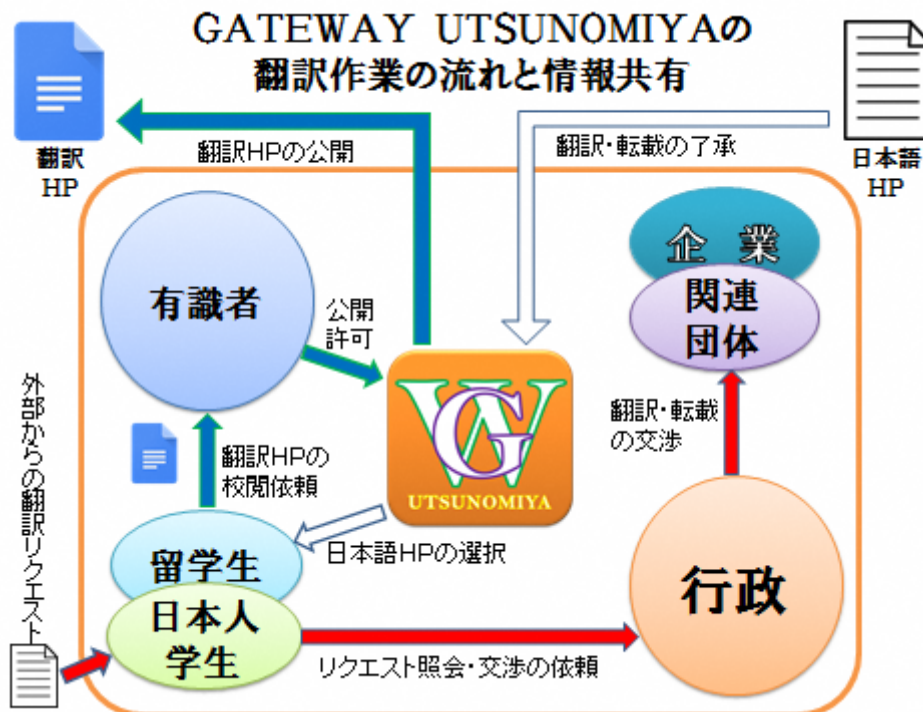
ポータルサイトを運営するための費用としては、第一に企業等からの広告収入を想定しています。企業に限らずポータルサイトを通じて情報を世界に向けて発信したいと希望する組織・団体については、出来るだけ低料金で多言語での広告の掲載を可能にします。例えば、特定の国からの観光客の集客を目指すホテルでは、その国の言語で正確に説明された自社の情報が経営上、有益なツールとなるはずです。

第二に、ポータルサイトの運営が軌道に乗るようになれば、サイトを構成する5つのグループが相互に協力して、動画などのコンテンツを自主制作することも、考えています。宇都宮に関連する優良なコンテンツを制作して、それを世界中の人々が視聴することになれば、ポータルサイトに広告料が入りますし、宇都宮の世界での知名度も上がることが期待できます。

WEB上での情報共有：既存HPの選定、翻訳、校閲、制作等の作業関連情報の共有
ポータルサイトの運営に必要な様々な情報は、WEB上で共有するようにします。

- a)例えば、既存のホームページに掲載されている情報を翻訳して掲載して欲しいというリクエストがポータルサイトに寄せられます。
- b)制作担当の日本人学生は、このリクエストに応じて、行政と連絡を取ります。
- c)行政は、ホームページを運営する団体や企業と交渉し、翻訳、転載の許可を取り付けます。
- d)許可を得たホームページは、翻訳のためのファイルに保存され、外国人留学生はこのファイルから好きなホームページの情報を取り出して、母国語に翻訳し、ファイルに返します。
- e)専門家はファイルの中に保存された翻訳情報を点検し、必要に応じて訂正を加え、掲載の許可を出します。
- f)掲載の許可が得た翻訳情報が、ポータルサイトに掲載されます。

この一連の情報のやり取りは、すべてWEB上で行われるので、翻訳のリクエストを出した人、学生、行政、専門家は、直接、会議や打合せに集まる必要もなく、迅速に情報の翻訳作業を進めることが出来ます。



2) 私たち、皆で創る、誰にでも優しい「まち」宇都宮の未来

以上、宇都宮市多言語総合情報ポータルサイト GATEWAY UTSUNOMIYAの施策事業の提案に至るプロセスと、事業の概要についてご説明しました。私たちは、このポータルサイトを、宇都宮市という共通の生活空間、コミュニティーで暮らす人たちが、国籍や年齢、性別、滞在の目的や期間などに関係なく、お互いに協力して、生活に必要で重要な情報を共有するためのツールであると、位置づけています。そして、ポータルサイトの開設と運用によって、世界中の多くの人々が宇都宮に関する正確な情報を手軽に入手できるようになった時こそ、そこに誰にでも優しい「まち」宇都宮が実現するものと、確信しています。

